

《会長挨拶》

令和5年度を迎え、YNU経済学部教育後援会の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素より当会の事業にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

ここ数年、我々は新型コロナウイルスによるパンデミックという予想すらしなかった事態に直面し、あまりにも大きな影響を受けました。しかし、今年度は5月の新型コロナウイルスの5類への移行により様々な規制が緩和され、少しずつではありますが、日常生活を取り戻しつつあることを実感しております。コロナ禍において、我々は先が見えない不安や焦り、もどかしさなどを抱えながらも、今できること、できる方法を探しながら、活動をしてきました。当会も同様で、様々な制約はありましたが、試行錯誤しながら、学生支援を継続してまいりました。

昨年度は、大学協定校への派遣留学生及びエディンバラサマースクール参加者、計12名に対して支援を実施しました。また、残念ながら卒業送別会は実施されませんでした。その支援に代わるものとして卒業生に記念品を贈呈しました。その他、リーフレットの発行やアンケートの実施により、会員と大学間、また会員同士の情報及び意見交換を活性化しました。ご協力いただきました先生方ならびに会員の皆様にこの場を借りて感謝申し上げます。

今年度は、復調の兆しが見える留学や国際交流等に係る従来の支援に加え、新たに本行賞受賞者に対する表彰を計画しております。本行賞は、横浜国立大学の組織である横浜経済学会が学生会員を対象に懸賞論文を募集し、優秀作・佳作を横浜経済学会賞（本行賞）として表彰するものです。当会からも表彰することにより、受賞者の栄誉を称えるとともに、横浜経済学会との連携をさらに強固にし、多角的な学生支援を図りたいと思います。

長引くロシアのウクライナ侵攻、原材料価格の高騰、急速に進む少子高齢化による労働力不足など、不確実性が多く先行きが不透明な現代社会においては、柔軟に対応するだけでなく、イノベーションを起こしていくことも求められるでしょう。ここ横浜国立大学で充実した学生生活を送り、社会に貢献できる人材となれるよう、喜びをもって今年度の活動を推進したいと思っております。皆様のご協力を改めてお願いいたします。

2023年7月吉日

YNU 経済学部教育後援会
会長 岡崎 綾子